

石川町 議会だより

No. 215

発行/石川町議会
令和4年 12月 1日 編集/広報常任委員会



写真/3年ぶり開催の交通安全・防犯鼓笛パレード

P2 **9月定例会 審議結果**

P5 **紙上中継**
(予算決算審査特別委員会)

P6 **9月定例会 一般質問**
(町政をただす)

P16 **あれからどうなった?**
(一般質問のその後は)

P17 **報告します議会活動**

P18 **議会モニターとの意見交換会**

2022

9月定例会

はどう使われたのか

決算 審議



若者・子育て世帯住宅取得支援事業



沢井地区ほ場整備事業



河川しゅんせつ工事



道路改良事業

令和3年度会計別決算審議

(万円未満は四捨五入)

| 会計別 | 歳入 | 歳出 | 歳入歳出差引額 | 採決 | 賛・反 | |
|--------|------------|---|------------|---------|------|----------|
| 一般会計 | 86億5,763万円 | 80億2,375万円 | 6億3,388万円 | 認定 | 全員賛成 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 16億7,560万円 | 16億2,344万円 | 5,216万円 | 認定 | 全員賛成 |
| | 後高齢者医療 | 1億9,125万円 | 1億8,710万円 | 415万円 | 認定 | 全員賛成 |
| | 介護保険 | 18億2,698万円 | 17億6,185万円 | 6,513万円 | 認定 | 全員賛成 |
| | 母畑財産区 | 1,859万円 | 27万円 | 1,832万円 | 認定 | 全員賛成 |
| | 中谷財産区 | 1,381万円 | 14万円 | 1,367万円 | 認定 | 全員賛成 |
| | 土地開発事業 | 1,582万円 | 355万円 | 1,227万円 | 認定 | 全員賛成 |
| | 宅地造成事業 | 262万円 | 262万円 | 0万円 | 認定 | 全員賛成 |
| 水道事業会計 | 剰余金処分 | 消費税及び地方消費税を除く利益剰余金3,289万円は、建設改良積立金に積み立てる。 | | 可決及び認定 | 全員賛成 | |
| | 収益的収支 | 3億6,945万円 | 3億1,744万円 | | | 5,201万円 |
| | 資本的収支 | 1億2,945万円 | 2億1,506万円 | | | △8,561万円 |

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度損益勘定留保資金で補てんした。)

令和4年9月定例会は、9月29日から10月12日までの14日間の会期で決算審議を中心に開催されました。初めに、令和3年度健全化判断比率、資金不足比率の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の一部改正及び補正予算などを審議し決定しました。一般質問には9人の議員が登壇し、49人の傍聴者がありました。

令和3年度主な事業

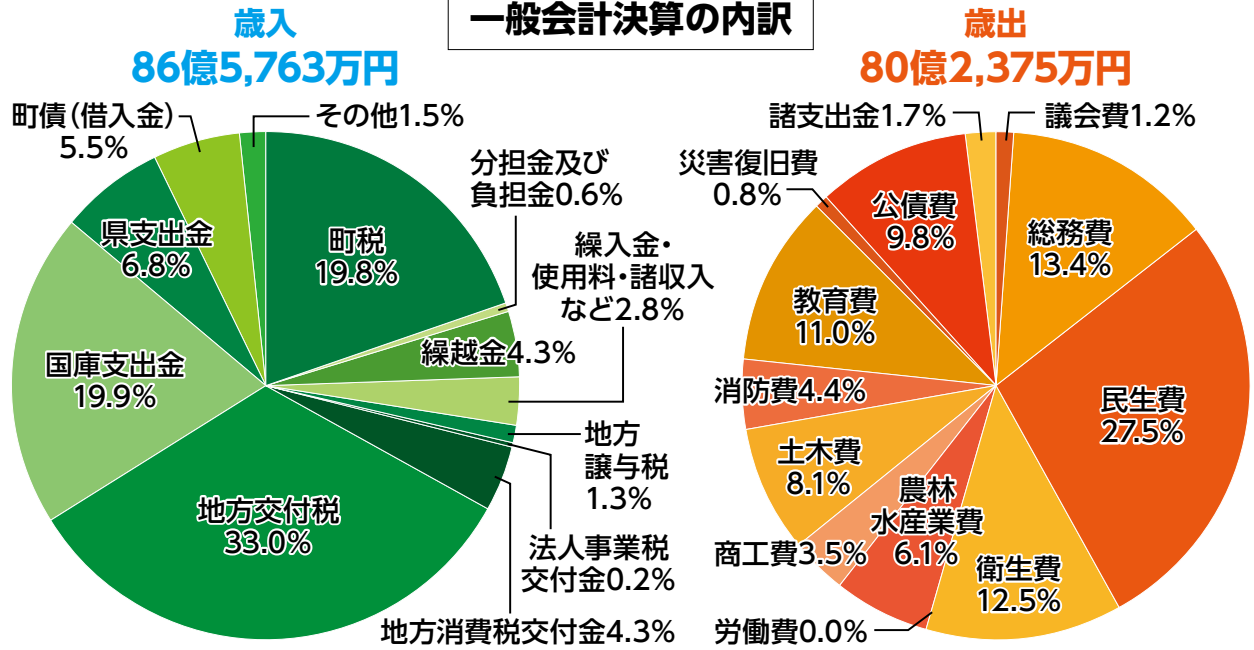
- ◆ 子ども・子育て支援給付事業
- ◆ 通学支援事業
- ◆ 給食費補助事業
- ◆ 若者子育て世帯住宅取得支援事業
- ◆ 保育施設整備事業
- ◆ 農業施設管理事業
- ◆ 道路新設改良事業
- ◆ 橋梁維持補修事業
- ◆ 河川浚渫工事事業
- ◆ 町営住宅長寿命化事業
- ◆ 歴史民俗資料館整備事業
- ◆ 温水プール施設改善事業
- ◆ 総合運動公園体育施設改善事業

その他、さまざまな事業に使われました。

3年度 一般会計 特別会計

総額116億200万円

一般会計決算の内訳



令和3年度石川町健全化判断比率について(報告)

| 区分 | 早期健全化比率 | 令和2年度(参考) | 令和元年度(参考) |
|-----------------|---|-----------|-----------|
| ①実質公債費比率(3年間平均) | 5.0% (財政再生基準35.0%) (早期健全化基準25.0%) | 4.6% | 4.5% |
| ②将来負担比率 | 15.7% (早期健全化基準350.0%) | 26.8% | 24.1% |
| ③実質赤字比率 | 黒字決算のため算定なし | — | — |
| ④連結実質赤字比率 | 黒字決算のため算定なし | — | — |

*①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

令和3年度石川町資金不足比率について(報告)

| 区分 | 資金不足比率 |
|------------|---------------|
| 水道事業会計 | 資金不足がないため算定なし |
| 宅地造成事業特別会計 | 資金不足がないため算定なし |

決算審査報告

代表監査委員

郷 隆雄

監査委員

菊池美知男

【審査結果】

令和3年度決算審査は、水道事業会計を2日間、一般会計及び特別会計などを7日間審査し、各会計とも決算の根幹については適正に処理されていることを確認しました。

また、地方公共団体財政健全化法に基づく財政指標については、実

【審査意見】

一般会計の実質収支は黒字となつているが、本町財政を取りまく環境は今後も厳しい状況が見込まれることから、安定した財政基盤を構築し、引き続き予算の効率的な執行に努力されるよう望みます。

特に、収入未済額については、法的対応措

置を含め現行より一歩踏み込んだ厳しい徴収について検討し、未納者の実態を的確に把握し、納税・納入について適切な指導を行うとともに、広域的な枠組みによる徴収事務など新たな手法の検討を進め、未済額の縮減により一層努力されるよう望みます。

また、財政指標が健全な水準を保つているとはいえ、地域経済の低迷や今後一層の人口減少、少子高齢化が続く見込みの中で、町税や各種交付金等の減収など、財源確保が一段と厳しくなることを視野に入れ、国庫支出金等以外の財源の確保に向けた研究のほか、着手すべき事務事業の取捨選択の厳格化、既存事務事業の再編等、持続可能な行政運営を図るため、不断の見直しに努め、各般の施策・事務事業を効率的・効果的かつ確実に推進することを望みます。

議案 審議結果

| 議案番号 | 議案・請願・発議 | 審議結果 | |
|---------|--|-------------|-----|
| 議案 第49号 | 石川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 全 員 |
| 議案 第50号 | 石川町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 全 員 |
| 議案 第51号 | 令和3年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第52号 | 令和3年度石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第53号 | 令和3年度石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第54号 | 令和3年度石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第55号 | 令和3年度石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第56号 | 令和3年度石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第57号 | 令和3年度石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第58号 | 令和3年度石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定 | 全 員 |
| 議案 第59号 | 令和3年度石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について | 可決及び 認 定 | 全 員 |
| 議案 第60号 | 令和4年度石川町一般会計補正予算（第3号） | 原案可決 | 全 員 |
| 議案 第61号 | 令和4年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 | 全 員 |
| 議案 第62号 | 令和4年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 | 全 員 |
| 議案 第63号 | 令和4年度石川町介護保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 | 全 員 |
| 議案 第64号 | 令和4年度石川町水道事業会計補正予算（第1号） | 原案可決 | 全 員 |
| 議案 第65号 | 石川町教育委員会委員の任命について | 同 意 | 全 員 |

1人5千円分の
生活支援商品券を交付決定

議案第60号

一般会計補正
予算第3号の
主なもの

今回の補正は、コロナ禍及び物価高・原油高により影響を受けている町民の生活支援策として、生活支援商品券発行事業に7743万8千円、コロナ禍による米価下落・物価高騰の影響を受ける水稲生産者、畜産農家への支援として、1490万7千円、

旧母畑小学校進入路整備事業及び指定避難所備品整備として、3889万5千円を増額計上したほか、前年度の決算剰余金の一部を基金へ積み立てるため、財政調整基金積立金、減債基金積立金及び公共施設保全基金積立金に所要額を計上したものです。



石川町教育委員会委員の任命

石川町教育委員会委員の任期満了に伴い、中田光泉

氏（大字塩沢）を任命することに同意しました。



予算決算審査特別委員会

◆工業団地管理経費

(226万6千円)

Q 藤沢工業団地の未利用地活用の見通しは。

A 未利用地1万6千㎡の一部は、地域の防災広場として活用するため、売却できる土地は、約1万㎡です。町内の既存企業からの問い合わせがあり調整中です。

◆観光物産協会組織強化業務委託料

(420万2千円)

Q 観光物産協会の法人化の見通しは。

A 観光物産協会を自走できる組織にするために事業推進会議を6回開催

し検討を進めていますが、今年度中の法人化は難しい状況です。令和5年度中に法人化を目指しています。

◆観光商品開発支援事業補助金 (41万2千円)

Q 事業の内容は。

A 町内の温泉施設とのパクツアアに助成を行いました。申請件数は、八幡屋と鈴木畜産のはちみつ牛を使ったパクツアア1件のみでした。

◆母畑レークサイドセンター改善事業

(456万3千円)

Q スケート場をシーズンオフに何かに使えない

か。

A スケート場を修繕した費用は補助事業であるため、他の目的には使えません。期限は有限であり、あと7年から8年は補助目的外の使い方はできません。

◆医療体制確保事業

(421万8千円)

Q 「町の医療体制作り」について、医師会との話し合いの現状は。

A コロナ対応の協議が主となり、話し合いが十分とはいえません。今後、本来の目的である医療体制作りの協議をしていきます。

◆運動教室事業

(運動機器レンタル料含む) 101万8千円

Q 町事業の運動教室は運動の習慣化に結びついているのか。

A 教室体験者が自分たちで運動サークルなどを作り継続している事例もあり、習慣化のきっかけ作りになっています。

◆石川町新生児誕生祝金

(72名375万円) うち第4子は3名

Q 出生祝い金を第4子目にもっと多く出してはどうか。

A 祝い金がより生きるよう考えていきます。

一般質問

町政をたただす

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたただすもので、定例会に限って行われます。今回は9名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。詳細については、各議員のTwitterの横の二次元コードを読み込むと、録画映像をご覧いただけます。

近内 雅洋 議員

P7

- ◆道の駅整備について
- ◆水道事業について



小木 芳郎 議員

P8

- ◆塩田町政2期目について
- ◆農業・商業・工業の振興について



瀬谷 京子 議員

P9

- ◆塩田町政2期目に臨む決意について
- ◆道の駅整備計画について



渡辺 実 議員

P10

- ◆認定こども園建設場所の安全性について
- ◆町長選挙公約「子育て応援宣言」の具体的取り組みについて
- ◆本町の農業及び農家存続のための農業政策について



乾 初美 議員

P11

- ◆中学校における制服の選択制の導入について
- ◆教育課の職員体制について
- ◆適応指導教室について



菊池美知男 議員

P12

- ◆町政2期目にあたっての取り組みについて
- ◆通学路等における安全対策について
- ◆奨学資金について
- ◆河川等の水質保全について



根本 重泰 議員

P13

- ◆認定こども園開園に向けての進捗状況について
- ◆文教地区の整備について



増子美知夫 議員

P14

- ◆生活交通対策事業の実証実験について
- ◆沢田小・中学校施設のサッカー場利活用について
- ◆財政健全化法による令和3年度健全化判断比率等について



瀬谷 寿一 議員

P15

- ◆道の駅は総合施策。進めるにあたっての課題について
- ◆5年後、10年後を見据えた町の課題について



Q 道の駅整備について、当初方針及び基本計画変更を懸念している。なぜ、「取得から借地」に変更したのか



質問者の動画が見られます

A サウンディング調査を実施し、最初から土地を購入することはないとの意見を参考にしました



こんない まさひろ 近内 雅洋 議員

詳しくは、ユーチューブ配信を見てください

◆道の駅整備について

質問 今までの説明では、移転補償費、用地取得費で3億円と説明してきたが、その根拠は。

答弁 移転補償費で1億円、用地取得費で2億円と想定していましたが、実際調査した結果、想定の2倍で、詳細は交渉中ですのでご理解願います。

質問 借地のほうが契約



▲道の駅予定地

質問 地元民誘客の見通しについて。
答弁 地元及び県内外から年間50万人、売上は2億5千万円と見込んでいます。

質問 民間事業者に任せるとした場合、地元企業の参入が難しいのではないかと。
答弁 運営事業者を選定する際には、地元企業が参入できるような条件を付します。

質問 出荷組合、生産組合を整備する考えは。
答弁 民間業者に委託するので、出荷組合や生産組合を組織することとは考えていません。あくまで運営事業者と生産者が契約することを想定しています。

答弁 今後、地権者と協議しながら契約していきます。解体については、極力ないような形で運営事業を考えていきます。

質問 事業費は10億円なのか。
答弁 国内外の政治や経済、社会情勢の変化による物価高騰などから12億円程度と見込んでいます。

質問 民間事業者に任せるとした場合、県内外の産品が多くなり地元の産品が減るのではないかと。
答弁 町と運営事業者と協議しながら、基本的に地元産のものを使うよう進めます。

質問 町民のための道の駅なのか。事業者のための道の駅なのか。
答弁 道の駅は地域振興を目的としており、民間主導でやることは言っても、民間に全部丸投げすることは考えていません。

質問 整備計画の見直しの考えは。
答弁 本町が整備する道の駅は、地域活性化の起爆剤になるものと考えており、計画の見直しは考えていません。

質問 水道事業について。
質問 石綿管等の更新の考えは。
答弁 計画的に進めていく考えです。

◆水道事業について

質問 石綿管等の更新の考えは。
答弁 計画的に進めていく考えです。



質問者の動画が見られます

Q 公約実現に向けた取り組みについて

A 全身全霊をかけて取り組みます



おぎ よしろう
小木 芳郎 議員

◆塩田町政2期目について

質問 本町の現状と課題について。

答弁 過疎地域の指定を受け、人口減少に歯止めがかからない厳しい状況が続いています。若者世代を定住させる事が重要と認識しています。

質問 本町に合った医療体制とは。

答弁 ドクターヘリポートが完成し迅速に搬送できるシステムを構築しました。子供から高齢者まで多様化する医療ニーズに応えら

れるよう進めていきます。

質問 子育て支援充実の具体策は。

答弁 現在、在宅育児支援金の支給や子供の医療費の助成などを行っているほか、小・中学校の給食費を、現在の半額補助から全額補助に拡大することを計画しています。

質問 スクールバスの停留所設置について、民家もひと気も無い停

留所は、安心・安全な子育てに繋がらないのでは。

答弁 バスの安全運行と危険がない乗降を第一に考え、停留所の設置は決定しています。今後は、更なる子育て支援につながる運行を計画していきます。

意見 道が狭ければ小さなバスを使うなど、安心安全を第一に、今一度、運行路線の点検をお願いしたい。

◆農業・商業・工業の振興について

質問 農・商・工業の現状と課題について。

答弁 農業においては、農作物の価格低下や農業資材等の高騰により、生産意欲低下や生産基盤の弱体化が懸念されています。

商工業においても厳しい状況が続いており、

事業者と足並みをそろえた支援策を実施していくことが重要であると考えています。

質問 肥料価格高騰対策事業について。

答弁 生産費高騰の影響が特に大きい稲作経営体に対し実施する県の事業で、石川町農業再生協議会が準備を進めています。

意見 農業・商業・工業を取り巻く環境は、厳しくなっています。持続可能な営みが進められるように手厚い支援をお願いしたい。



▲若林スクールバス待合所の様子
(福島交通バス豆ヶ平入口)



▲高騰する肥料の保管の様子
(JA夢みなみ石川営農センター)



質問者の動画が見られます

Q 町民は道の駅より直売所を含む町の駅を望む声が多い。見直す考えは

A 見直す考えはありません



せや きょうこ 議員
瀬谷 京子

◆塩田町政2期目に臨む決意について

質問 2期目の町政運営に当たり改めて実感した課題とは。

答弁 空き家、空き地、耕作放棄地の増加に危機感を感じました。

質問 課題解決のための思い切った施策とは。

答弁 若者世代の定住促進と子育て支援のさらなる拡充を図ります。

質問 町民の声をよく聞くと述べているが。

答弁 町民の声を聞き、町民と共に創るのが私の政治姿勢で、町民に

寄り添う町長であり続けます。

質問 町政懇談会を開く考えは。

答弁 現在「道の駅」「認定こども園」「浄水場改修」等大型事業を進めており、来年度から町政懇談会を開き町民の意見を伺います。

質問 施策の「おせっかいクラブ」とは。

答弁 未婚者を引き合わせて結婚の機会をつくるもので、まだ担当課は決まっていませんが、令和5年度から対応します。

質問 納付金とは。

答弁 想定では年間売上を2億5000万円、その5%1250万円を30年間で事業者から納付していただきます。

質問 商品の開発は。

答弁 特産品や6次化商品の開発を進めており、令和5年度には販売を開始する予定です。

質問 生産者の高齢化や後継者不足で出荷できないという声も多く

業者との連携で、町の特色が一層発揮され活性化の起爆剤になるものと考えます。

質問 事業費は。

答弁 現在、総事業費を12億円程度と見ていますが、町が実質支払う整備費用は納付金で回収できる3億7500万円を上限にする方針です。

質問 生産組合等は。

答弁 組合は作らず運営事業者と生産者が個別に契約しますが、町と運営事業者が連携して取りまとめをします。

質問 道の駅はいらないという町民の声が多いが、見直す考えは。

答弁 ありません。道の駅整備を進めます。

意見 運営事業者が決まらないと具体的な内容が決まらず説明も具体性がなく判断に苦慮する。

町民の声に真摯に耳を傾け、町政執行することを望む。

◆道の駅整備計画について

質問 民間事業者に丸投げの感がある。町の特色を出し地域活性化の起爆剤になるのか。

答弁 自由な発想と実績を持つ民間の運営事業者との連携で、町の特色が一層発揮され活性化の起爆剤になるものと考えます。

Q 認定こども園は土砂災害特別警戒区域にかかるが安全か



質問者の動画が見られます

A 落石や土砂が崩れた場合に受け止める防護柵を設置し、安全を確保します



わたなべ みのる 議員

◆認定こども園建設場所の安全性について

質問 災害リスクの高い場所に選定した理由は。

答弁 町有地で幼小連携が期待でき、送迎の利便性が図れます。

質問 送迎の安全確保は。

答弁 県道からの出入りルートを小・中学生と園児で分けま

質問 県との協議状況は。

答弁 防護柵の



▲認定こども園建設予定地

設置の指導を受け、進めています。

質問 県の認定こども園担当部署の話では、「建設はできませんが、法の趣旨が違いますね」と。考えは。

答弁 防護柵を設置し、問題がないということ県に申請しています。

質問 県によっては、

「社会福祉施設の立地に関し、土砂災害警戒区域にかかる場合は、該当しない土地での整備を行うよう指導する」となっている。

答弁 園庭の一部が土砂災害特別警戒区域にかかり、さらに地盤を1m下げるのは大丈夫なのか。

答弁 柵を設置し、その内側なので問題ないと解釈しています。

質問 現保育所の保護者への説明は。

答弁 10月に基本計画を策定し、その後開催します。

◆町長選挙公約「子育て応援宣言」の具体的な取り組みについて

質問 小・中学

校給食費の無料化の実施時期は。

答弁 令和5年4月からの実施を目指しています。

質問 小規模宅地造成の実施時期は。

答弁 令和5年度から公民連携で進めていきます。

◆本町の農業及び農家存続のための農業政策について

質問 農業政策検討チームとは。

答弁 6月に11名の農業関係者を委嘱しました。

質問 設置の目的は。

答弁 農業者の育成確保、農業・農村の多面的機能維持、農業支援などを検討していきます。

Q 中学校における制服の選択制の導入について



質問者の動画が見られます

A 今後、生徒会等の中で話し合いをし、保護者、衣料組合等の理解も得ながら、制服の選択制度の導入について検討していきたいと考えています



いぬい はつみ 乾 初美 議員

生徒が今以上に自分らしく、そして安心して過ごせるような環境を！

◆中学校における制服の選択制の導入について

質問 制服の着用は義務か。

答弁 法的には何ら義務づけはありません。

質問 町は、制服の選択制について、導入を希望する当事者が声を上げる必要性があると考えるか。

答弁 児童生徒が手を

挙げないと制服の選択ができないということではなく、学校がリーダーシップを取っていくことも必要だと考えています。

◆教育課の職員体制について

質問 職員体制は十分か。

答弁 職員の増員も含め、関係部局と協議をしていく考えです。

質問 スクールソーシャルワーカーについて、県に配置を希望したり、町独自で雇用する考えは。

答弁 県にスクールソーシャルワーカーの委託派遣を希望したいと考えています。

質問 民間企業経験者の採用について、町長の考えは。

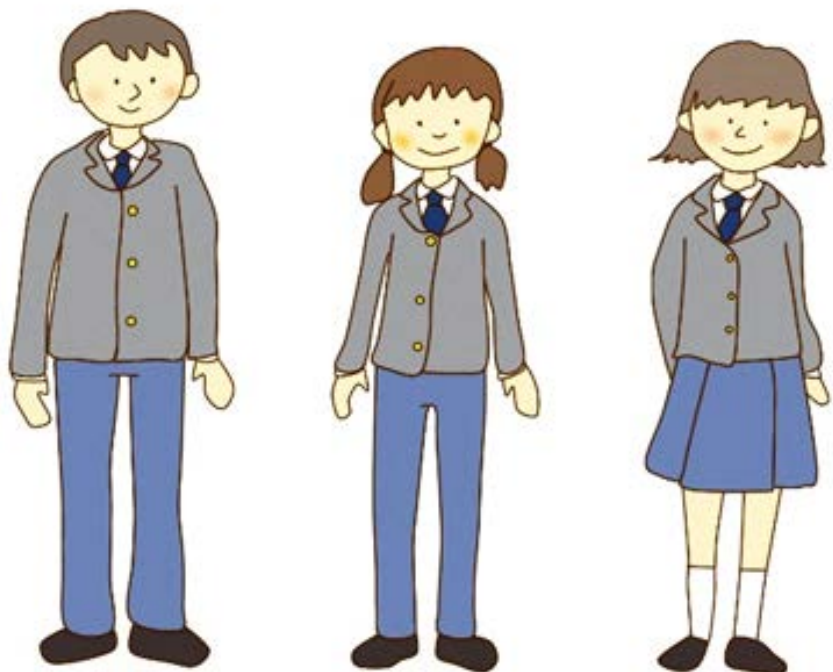
答弁 必要かどうか

含めて今後検討します。

◆適応指導教室（キラールーム）について

質問 不登校傾向にある児童生徒も対象になるか。

答弁 不登校傾向のある児童生徒も含みますので、年間30日以上欠席がなくても、休みが続いている児童生徒も、受け入れるようにしています。





質問者の動画が見られます

Q 無料温泉利用は75歳からの考えは

A 次年度以降拡充に向け準備しています



きくちみちお 議員
菊池美知男

◆町政2期目にあたっての取り組みについて

【質問】 石川町に暮らしてよかった。生まれてよかった。そのためにもはどの様な町づくりを目指すのか。

【答弁】 子どもからお年寄りまで皆にやさしく、皆が幸せを実感できるような、そして持続可能なまちづくりを目指していきます。

【質問】 高齢者福祉事業（タクシー・温泉入浴・自動車運転免許返納者支

援）の拡充について。
【答弁】 今後のさらなる拡充について、現在検討を行っており、令和5年度から対象年齢を5歳拡大して75歳とするために試算等含めて準備しているところで

◆通学路等における安全対策について

【質問】 民間事業者を含めた園児、児童の登下

◆奨学資金について

校時の送迎での取り返し防止策について。
【答弁】 今回の事件を受け、取り返し防止の徹底につき、再度委託業者に対応の強化を依頼したところです。

【質問】 奨学資金の制度を、貸与から返還金助成付き給付型にし、定住促進を含めた将来返還の負担を軽減できる

制度や、金融機関等と連携した取り組みについて。

【答弁】 多くの子ども達が奨学資金を借りて、そして石川町に戻ってくるといふようなことで、見直しをした

考えています。

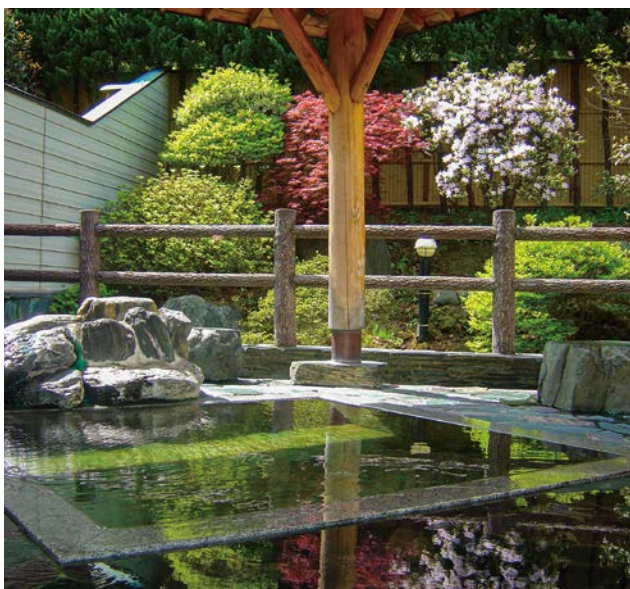
【意見】 資金面については、「餅は餅屋」の諺がありますが、金融機関等と連携して実施した方が、事務の軽減や処理もスムーズに出来るのではないかと思いたいので検討していただきたい。

◆河川等の水質保全について

【質問】 北須川の水質について。

【答弁】 引き続き水質検査を実施し、県や関係自治体との協議を行い、水質の保全を呼びかける取り組みを継続して進めていきたいと考えています。

【意見】 河川汚濁等の情報を、その都度きちんと町民の皆様が流して、不安払拭に努めていただきたい。



▲本町は全国でも屈指の温泉地

Q 認定こども園の開園はいつ



質問者の動画が見られます

A 令和6年度中の開園を目指しています



ねもと しげやす
根本 重泰 議員

文教地区として、
相乗効果が期待でき
ます

質問 規模とその根拠は。

答弁 現在、用地造成工事の実施設計中で、年内の工事発注を目指しています。令和5年度に建築工事を発注し、令和6年度中の開園を目指しています。

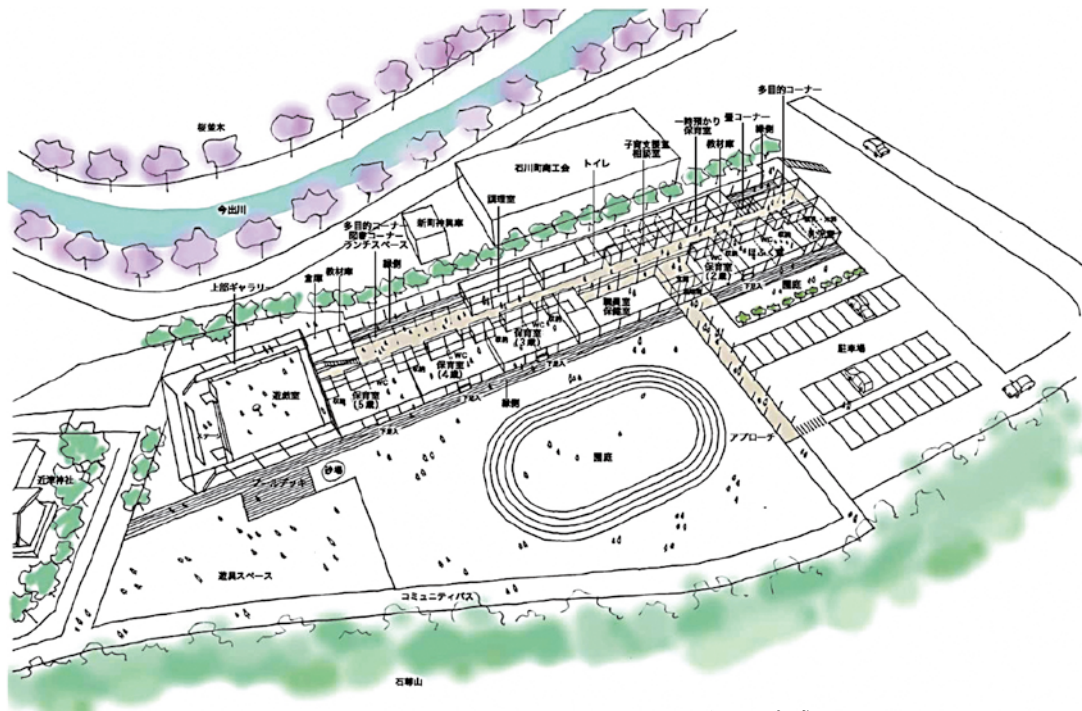
質問 現在の進捗状況は。
答弁 認定こども園開園に向けての進捗状況について

整備スケジュール 開園時期2024年

| | 令和4年度 | | | 令和5年度 | | | | | | | 令和6年度 | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------|----|---|-------|---|---|---|---|---|---|-------|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|
| | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 造成工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建築関係 | 基本・実施設計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 建築工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

質問 安全性の担保は。
答弁 建設場所敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されています

答弁 令和6年度の石川町保育施設等将来利用人口を297人と想定しています。本町の3民間保育施設を圧迫せず、待機児童を発生させないことを考え、施設定員を180人としました。



こども園完成のイメージ図

ので、防護柵を設置し安全を確保します。また、災害時の避難行動、

初動対応を含めた避難確保計画策定の予定です。

Q 生活交通対策事業の実証実験後も、引き続き運行が必要では



質問者の動画が見られます

A 重要なことなので実証を踏まえて、効果があれば続けていきたいと思ひます



ましこみちお 議員
増子美知夫

◆生活交通対策事業の実証実験について

【質問】生活交通対策事業の実証実験を12月から3か月間予定している

るが、実験終了後の本格運行について。
【答弁】実証運行の結果から得られる課題について、地域と議論を重ね、持続可能性を勘案するなど、実施の可否を検討していきます。

◆沢田小・中学校施設のサッカー場利活用について

【質問】沢田地区からの要望書の進捗状況について。

【答弁】石川義

塾と整備スケジュールを踏まえて2者協議を行っており、要望事項の取りまとめの段階です。主な課題である進入路は、現道の改良が現実的と考えられています。また、雨水対策、



▲ミニバス(8人乗り)のイメージ



▲旧沢田小・中学校のグラウンド

が現時点の財政状況について。

【答弁】財政健全化の判断基準となる実質公債費比率は5・0%、将来負担比率は15・7%で、健全な財政状況と考えます。基金の現在高は、財政調整基金9億4940万2千円・減債基金3億8500万円・公共施設保全基金1億630万4千円となります。

【意見】現在、財政指標は健全な水準を保っているが、これは今後の財政運営の安定性を保証するものではないので、基礎となる中長期的な財政計画を策定し、健全な財政運営を図っていただきたい。

◆財政健全化法による令和3年度健全化判断比率等について
【質問】大型事業が続く

※財政調整基金：年度間の財源不足に備えるため、決算剰余金などを積み立て、財政の健全な運営に資することを目的にした基金
※減債基金：町債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたり町財政の健全な運営に資することを目的にした基金
※公共施設保全基金：公共施設の維持、補修費用について、財政負担の年度標準化による健全な財政運営と公共施設の適正状態での管理に必要な財源を確保することを目的にした基金

Q 道の駅敷地の長期借地料及び移転補償費について



質問者の動画が見られます

A 地権者・事業者からは、事業への協力と借地料、移転補償料について、概ね了解を得ています



せや としかず
瀬谷 寿一 議員

◆道の駅について

質問 道の駅整備は、総合政策だ。ふさわしい組織が必要ではないか。

答弁 農政課だけではなく、各課横断的な対応をしていきたいと思っています。

質問 町長答弁を聞いても道の駅のイメージがわからない。町民への説明会を行うべきだ。

答弁 各地区での町政懇談会などで、情報発信をしていきます。

質問 ロシアのウクライナ侵攻等で飼料や肥

料が高騰し、畜産農家が疲弊している。こうしたときだからこそ、循環型農業への支援を強化し、有機農産物を道の駅で販売する仕組みをつくるべきではないか。

答弁 有機栽培について検討していきます。

質問 移住定住対策もゲートウェイ機能のひとつとして、観光業務と一緒に道の駅に窓口を開設してはどうか。

答弁 移住定住専任の職員として地域起こし協力隊を公募中です。今後検討していきます。

意見 県立石川高校存続問題と合わせて、道の駅での高校生の

活躍の場をつくってほしい。

◆5年後から10年後の町の課題について

質問 国の地方鉄道の再構築の提言があったが、水郡線の存続は大

丈夫か。

答弁 沿線11市町村で構成する水郡線活性化対策協議会での協議や町独自の事業について検討していきます。

質問 まちなかは、令和元年水害で大きな被害を受けた。まちなかで安心して暮らすために北須川本線の改修を急ぐべきだ。

答弁 現在、県で北須川河川断面調査を行っています。終了次第、防災対策を踏まえた河川整備等について、県と協議していきます。

質問 町の森林の半分は広葉樹で、全国有数のナラ、クヌギの優良ホダ木生産地だった。原発事故以来、萌芽更新が進んでいない。バイオ発電等での大量木材利用も考えてほしい。

答弁 そのように努めていきたいと思えます。



▲磐城石川駅上下線8時02分到着列車から約300人の通学乗降者

あれからどうなった？

一般質問のその後は

県道いわき石川線(石川バイパス)について

進められています。

完成しています。
今後は、起点部(いわき側)から県道飯野三春石川線との交差点までの約3・6kmの区間について

●**いわき石川線の現状は**
●**本町中心部を通るいわき石川線は、道路の幅員が狭く、大型車の通行に支障をきたすことも、交通混雑が発生している現状となっています。**このため県では、石川バイパスの整備により、所要時間の短縮・交通の分散がなされ、交通・物流の良好なネットワークの構築と交通混雑の緩和を目的に石川バイパス事業が

●**石川バイパスの進捗状況**
●**現在の進捗状況は、全長約5kmの区間について、全線にわたり工事を進めており、トンネルと7つの橋梁のうち6橋が**



▲石川バイパスで車の流れが変わる(双里地区)

て、早期開通を図るために重点的に工事を進めるとともに、残る区間について、早期開通を図るためにも全線の完成に向けて計画的に事業を実施していきます。

放課後児童クラブに室長を配置



児童クラブの田滑な運営、子どもたちの安全確保などのため、現場責任者として、令和4年度から放課後児童クラブに室長が配置されました。

- 放課後児童クラブの運営体制は。**
- 室長1名、支援員(有資格者)9名、支援補助員3名の計13名で運営しています。**
- 室長ってどんな人。**
- 室長プロフィール**

馬場哲明(ばばてつあき)石川中学校に2度勤務し、沢田小学校長を定年退職後、令和4年4月から放課後児童クラブの室長となりました。午前中は、適応指導教室「キララルーム」の指導員として勤務しています。小中学校に長く勤めていた経験を生かし、児童生徒への指導にもあたっています。

報告します 議会の活動

福島県町村議会正副議長・ 事務局長研修会(8月23日)



福島市のホテル福島グリーンパレスで開催され、関東学院大学法学部の牧瀬稔准教授による「議会改革に貢献する議会の権限強化の一視点」について、政治ジャーナリスト田崎史郎氏による「今後の政局・政治展望」の講演がありました。

東京電力福島第一原子力 発電所視察研修会(9月6日)



東日本大震災・原発事故が発生し11年が経過した現在の東京電力福島第一原発廃炉作業、汚染水処理などの最新の状況や周辺地域の復興状況について視察研修を実施しました。

国道6号線沿いの田畑は雑草に覆われ、地震で被災した住宅はそのまま残され、改めて事故の悲惨さを痛感しました。

全国町村議会広報研修会 (9月20日)



東京都で開催された全国町村議会広報研修会に参加しました。

研修は3部構成で「そろそろ化けませんか！絶滅危惧から持続可能な議会広報へ」、「これからの議会広報を考える」、「3つの議会広報が教えてくれること」と題して行われました。

今後、この研修の成果を生かし読みやすい紙面づくりを目指し親しまれる議会だよりの編集に取り組んでいきます。

福島県町村議会議員研修会 (10月24日)



郡山市のビッグパレットふくしまで開催され、東北大学大学院の河村和徳准教授による「町村議会のあり方と今後の議会改革」について、政治ジャーナリスト細川隆三氏による「日本政治の行方」の講演がありました。

交換会を開催しました

もっと若者の力を活かしてほしい

- 若者からの意見などを載せるコーナーを作ったらよいと思う。
- 10代、20代の若い議会モニターがいたほうがよかったと思う。

モニターの意見を反映させるために

- モニター会議の時だけでは、幅広い意見を求めるのは難しいので、会議の時だけでなく、意見や感想の文書を、事務局にいつでも提出できるようにしたほうがいい。

議会だよりを読んで

- 答弁でこれから何々しますと言っているが、町民が知りたいのは途中経過や具体的に決まった事だと思う。
- 議会だよりの中で、あれからどうなった？一般質問のその後はというコーナーがある。町民は、その後どうなったのかということが一番知りたいことだと思う。
- 誰に向かって作っているのか考えれば、もうちょっと中身のあるものができると思う。
- 町民のみんなで石川町を作るために、町民の意見や写真、メッセージを多く載せて、親しみやすく、読みやすい紙面にしてほしい。
- 議会だよりを読むと、いつも同じ人が質問している気がするので、議員にはもっと質問をしてほしい。
- 議会だよりは、固すぎるのももう少し和む表現にしてほしい。

他市町村の議会だよりと比べると

- 石川町は文字が小さいが、内容は面白い。
- 大きな違いは、石川町は一方通行。他町村は町民参加型で、議員の質問も町長の答弁も、経過、現状、考え方が載っているので、面白いと思った。

委嘱状交付式終了後に、初めての開催となる議会モニター会議では、議会だよりの見やすさや、町民の方が議会だよりに何を求めているかなどについて、町民目線でのご意見をいただきました。

議員だけでは気付かない視点でのご意見などもたくさんいただき、充実した意見交換となりました。石川町議会では、それらの意見を基にできることから改善していきます。



議会モニターとの意見

石川町議会では、議会だよりやホームページに関する町民の皆さんの声をお寄せいただき、紙面の充実等を図るため、本年度から議会モニター制度を設けています。

7月27日に今年度から活動いただく議会モニターさんへ近内副議長から委嘱状を交付しました。なお、議会モニターの任期は、令和6年7月までの2年間です。

議会モニターの皆さんを紹介します!

| 氏名 | 地区 | 氏名 | 地区 |
|-------|-----|-------|-----|
| 南條 一夫 | 下 泉 | 會田 泰子 | 塩 沢 |
| 荒川 光美 | 下 泉 | 小林 麻里 | 塩 沢 |
| 星 幸志 | 下 泉 | 瀧口 寿子 | 母 畑 |
| 諸岡大二郎 | 下 泉 | 迎 茂城 | 双 里 |
| 野崎 謙治 | 沢 井 | 桑沢おりえ | 双 里 |
| 郷 徹 | 新屋敷 | 中野智佳子 | 谷 沢 |
| 佐川 朝美 | 赤 羽 | 川島 宏一 | 山 形 |



未来に向かつて

・ 高校生の声

学法石川高校 3年 鈴木 伽那かな

地域貢献活動を通して



私は、石川町のリビングプロジェクトに参加し、昔よりも賑わいがなくなってしまう商店街を明るく元気にしようという思いで3年間取り組んできました。先輩から後輩へ毎年引き継がれている鈴木重謙屋敷でのクリスマス点灯式では、サンタクロースやトナカイなどに扮装し、お菓子やコーンポタージュを

配りました。子供たちに喜んでもらえて嬉しかったです。

また、町の文教福祉複合施設「モトガッコ」で開催された青空市においては、主催する大人の方々と協力し、高校生ブースの出店を成

功させることができました。出店するにあたり、何度も話し合いを重ね、様々な人と交流を深めたことが、コミュニケーション能力の向上につながりました。

町のリビングプロジェクトを通して石川町と深く関わり、将来は役場等で働く地方公務員になろうと考えています。町の人と密接に関わり合いながら、様々なサポートができるような公務員を目指しています。



▲「町のリビングプロジェクト」で行った鈴木重謙屋敷でのクリスマス点灯式

編集後記

もう12月、時の流れは早いものです。議会の役割はチェックとより良いものに仕上げるための提言。令和5年度歴史民俗資料館、6年度認定こども園、7年度道の駅、「石川町の顔」が造られます。議会だよりの情報をご覧ください。根本重泰

議会を傍聴しませんか
12月定例会「一般質問」は**12月5日(月)**の予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。



| | | | |
|--------------|-------|------|-------|
| 議会広報 | | 委員長 | 菊池美知男 |
| 常任委員会 | | 副委員長 | 乾 初美 |
| 委員 | 藤島 一浩 | 委員 | 根本 重泰 |
| 委員 | 瀬谷 寿一 | 委員 | 増子美知夫 |

